

学生により企画される実践型海外派遣プログラム 平成28年度募集要項

学生自身が企画する派遣プログラムへの参加者を以下のように募集します。本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。本プログラムへの参加によりコース修了に必要な単位が付与されます。

1. プログラムの内容

大学が用意した従来のパッケージ型派遣プログラムとは異なり、本プログラムは活動内容を学生自身が企画して実施します。この活動をとおして海外で必要とされる実践的能力を向上させることを目的としています。

(1) **プログラムの形式** 大学訪問、ボランティア、インターンシップ、企業訪問など自由です。

(2) 学生が企画する事柄

学生自身が企画できる事柄は以下のとおりです。

- 1) 訪問先：国、都市、大学、公共機関、企業、NGO、コミュニティ、など。
- 2) 現地での活動内容：授業参加、現地学生・現地日本人などとの交流、企業見学、村落体験、ホームステイ、インターンシップ、ボランティア、調査、など。
- 3) 日程：派遣時期、派遣期間、活動地、宿泊地、毎日のスケジュールの時間割。派遣時期、派遣期間については後述の2. 募集概要を参照。
- 4) 旅行手段：日本往復フライト、宿舎、現地移動手段

(3) 学生が行う手続き

学生自身が以下の手続きを行ってください。

- 1) 訪問先への申込み、交渉、予約取り付け
- 2) フライト、宿舎、現地交通手段の予約

(4) グローバル人材育成推進支援室のかかわり

- 1) 教員・事務員の現地付き添いは行いません。学生だけの現地派遣となります。
- 2) 事前準備進捗と現地活動状況を適切な頻度で支援室に報告してください。
- 3) グローバル人材育成推進支援室は安全性あるいは教育的観点から、必要に応じて助言をおこないます。
- 4) 次のような場合には支援室が支援を行うことがあります。
 - ①訪問先の大学・教員と本学・教員との間で正式な取り決めを行う必要がある場合
 - ②その他
- 5) 現地で緊急事態が発生した場合には、支援室だけでなく大学が対応します。

(5) 準備期間中のグループ活動

3~5名程度の学生で1グループを構成します。派遣前には以下のような作業をおこなってください。

- 1) グループ内におけるリーダー、サブリーダーなどの役割分担の決定。
- 2) 派遣準備スケジュールの作成。
- 3) グループ内での打ち合わせと現地との連絡など。
- 4) 準備の進捗に関する支援室への報告。

(6) 単位

- 1) 実践型海外派遣プログラムの単位が付与されます。単位数は現地研修日数に応じて以下のとおりです。
 - 8日間~2週間 2単位
 - 2週間超~3か月未満 3単位
- 2) 事前準備のみで現地派遣に参加しなかった場合には単位は付与されません。

注)

2年生の参加については、「グローバル理工人研修入門」の単位が付与されます。(この場合、実践型海外派遣プログラムの単位とはなりません。)

3年生および下記の条件を満たす4年生については、「グローバル理工人研修」の単位が付与されます。

- 1) 当該海外派遣プログラムにより得られる単位の有無が、卒業に影響を及ぼさない。
- 2) 卒業あるいは大学院進学に関する必要な手続きに影響を及ぼさない。

2. 募集概要

(1) 応募資格

応募資格は以下のとおりです。

- 1) グローバル理工人育成コースに登録済。
- 2) 国際意識醸成プログラム3単位 (Fゼミ2単位+グローバル理工人入門1単位または同概論1単位) を取得済。
- 3) 東工大正規課程学生 (学部生) で、2年次生以上であること。
- 4) 国籍・性別・学科は不問です。

(2) グループの構成と応募人数

- 1) グループとして応募してください。
- 2) グループ構成の人数は3~5名程度としてください。
- 3) 男女混合の場合には、それぞれ2名以上の構成とします (健康問題が生じた場合などに備え)。

(3) 派遣先、現地での活動内容、日程、旅行手段

上述のとおり参加学生が企画し、手続き・予約などを行ってください。

(4) 派遣時期と派遣期間

- 1) 現地派遣は2016年度冬休み、春休みまたは2017年度夏休みとしてください。
- 2) 派遣時期は授業と重複しないよう調整してください。
- 3) 派遣期間(日数)は現地研修期間が8日間以上かつ上述1)、2)を満足すれば特に限定しません。

(5) 費用

- 1) 金額は参加者自身が企画するプログラムの内容によって決まります。
- 2) 大学の指定する海外旅行保険および危機管理サービスに加入してください。

(6) 募集人数 若干グループを募集します。

(7) 応募方法

- 1) 添付の申請書および企画書を提出してください。企画書に記載すべき事項は後述3. 企画書に記載すべき内容を参照してください。
- 2) 申請書はグループメンバー各自が作成してください。またグループメンバー全員で1つの企画書を作成してください。
- 3) メンバー全員の申請書と企画書をまとめてPDFによりメールで提出してください。宛先はグローバル人材育成支援室: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp 質問は支援室横倉まで: yokokura.j.aa@m.titech.ac.jp

(8) 選考方法 書類審査および面接によります。

(9) 応募締切 2016年8月5日(金)

- 1) 応募に際しては学科長の推薦を必ず得てください。申請書の所定欄に学科長の署名を得てください。
- 2) 5月11日15:00、S422 (大岡山南4号館2階) にて開催される2015年度「学生により企画される実践型海外派遣プログラム」(ギリシャ)報告会に必ず出席してください。

(10) 面接予定日/日時/場所 2016年8月8日(月)・9日(火) 午後 大岡山キャンパス

(11) 事前・事後学修

本プログラム参加者は単位付与の一環として、以下の事前・事後学習への参加が義務付けられます。

- 1) 事前準備を行い、計画書を提出してください。
- 2) 渡航前オリエンテーションを受けてください。安全管理の説明も含まれます。
- 2) 帰国後に報告書を提出してください。
- 3) 帰国報告会で成果を発表してください。

(12) 奨学金支援

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(日本人学生)、および東京工業大学130年基金(留学生)などの対象とされる可能性があります。

*学内規定により国費留学生には奨学金の支給はできない場合があります。

奨学金支給基準:

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者(独立行政法人日本学生支援機構(JASSO))国費以外の留学生(東京工業大学基金)
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上(JASSO規定の計算式に基づく)の場合には支給されることがあります。⇒学業成績書で確認する。

下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出(小数点第3位を四捨五入)

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

(計算式)

(「評価ポイント3の単位数」×3)+(「評価ポイント2の単位数」×2)+(「評価ポイント1の単位数」×1)+(「評価ポイント0の単位数」×0) / 総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満(JASSO規定の計算式に基づく)の場合、自己推薦書を提出することで、支給が認められる場合があります。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者(原則として家計基準に合致する者)⇒申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

3. 企画書に記載すべき内容

企画書には以下の内容を記載してください。

1. 参加希望理由
(グループメンバー各自が作成、800字以内、A4用紙に記載。)
2. 企画するプログラムの内容(A4用紙2ページ程度)
 - (1) 目的
 - (2) 内容
 - 1) 訪問国とその選定理由
 - 2) 訪問先とその概要、および企画する活動の中身とねらい
 - 4) 現地での仮日程(訪問機関、面会予定者、移動経路、宿泊地など)
 - 5) 安全面への配慮
3. 事前準備(A4用紙2ページ程度)
 - (1) 事前準備の項目と準備のスケジュール

- (2) 訪問先との連絡（連絡事項の主な内容、調整・コミュニケーションの方法、先方担当者名など）
- (3) 交通手段・宿泊先手配の方法
- (4) 各メンバーの役割分担(リーダー、サブリーダーなど)

(書式は自由、日本語表記。)

以上